

日本学術会議政治学委員会国際政治分科会（第 25 期・第 1 回）

日時 2021 年 3 月 22 日（月）15：00～17：00

会場 オンライン

出席 〈委員長〉山田高敬〈連携会員〉鈴木基史〈第一部会員〉石田淳、大芝亮、我部政明、亀山康子、古城佳子、竹中千春、都丸潤子、羽場久美子

配布資料

日本学術会議国際政治分科会シンポジウム企画案

会員との情報・意見交換用資料（0303）「報告書に向けた検討案」

〈議事〉

1. 協議事項

（1）国際政治分科会の役員選出について

本分科会の今期の役員について協議の上、委員長に山田委員、副委員長に亀山委員、そして幹事に石田委員および都丸委員を選出することが了承された。

（2）国際政治分科会シンポジウム企画案について

山田委員長から、「学術フォーラムの選定及び実施について」（H24.2.20）に基づき、学術フォーラムの趣旨、応募手続き等について説明がなされたあと、資料「日本学術会議国際政治分科会シンポジウム企画案」《生存への脅威と向き合う国際政治と外交——科学的なアジェンダと政治的なアジェンダの交錯》（仮題）が示され、協議が行われた。

本分科会ならではの提案とするべく、科学的専門知がいかに関政策に反映されるかを明らかにすると同時に、あわせて政策形成についての政治学者の専門知を示すシンポを企画する方針が確認された。COVID-19 をはじめとする越境感染拡大をテーマとして、生命科学等の他分野の委員会との連携を図りながら、地球規模課題への国際社会の対応にみられる国際協力の立ち遅れや、各国対応の多様性の原因を解明するなど、シンポジウムの概要について大筋において認識が共有された。

（3）日本学術会議の改革について

鈴木委員から、資料「会員との情報・意見交換用資料（0303）「報告書に向けた検討案」」が示され、学術会議の助言機能の強化、協力学術研究団体たる学協会との協力の促進、国際活動の拡充の三点について委員の間で意見交換が行われた。

2. その他

（1）次回会合（7 月）について

山田委員長から、あらためて日程調整を行うとの説明があった。

議事録作成 石田 淳